

未更毛川流域の
ゲンジボタルと
ヘイケボタル

平成24年度安居地区ホタルマップ



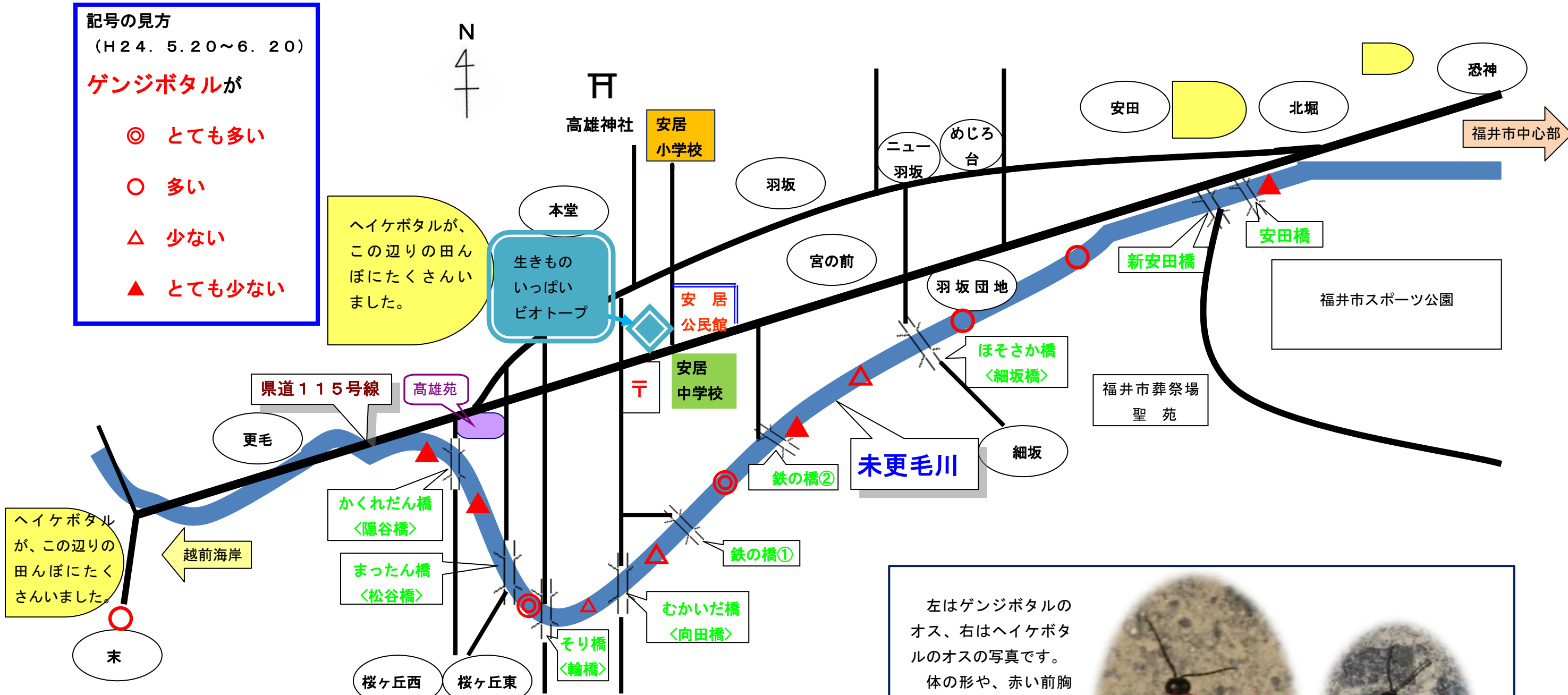
～つたえよう つなげよう 安居の郷～
発行 平成25年5月5日
安居公民館・安居の里を守る会
電話 0776-37-1234

記号の見方
(H24. 5. 20～6. 20)

ゲンジボタルが

- ◎ とても多い
- 多い
- △ 少ない
- ▲ とても少ない

ヘイケボタルが、
この辺りの田んぼにたくさんいました。



ヘイケボタルが、この辺りの田んぼにたくさんいました。

☆ホタルの光は、人の心をおだやかにしてくれます。
安居の宝物です。みんなで大切にしましょう。

さて、ここで質問です。みんな、わかるかな？

1. ゲンジボタルは、いつごろから飛び始めますか。
2. ヘイケボタルの幼虫は、何を食べますか。
(答えは、マップのどこかに書いてあるよ。)



左はゲンジボタルのオス、右はヘイケボタルのオスの写真です。
体の形や、赤い前胸部にある黒い模様の違いがよくわかります。
どちらも未更毛川の近くで撮影しました。
これまで見つけた中で、一番大きいメスの体長は22mmでした。



メス 約20mm
オス 約15mm



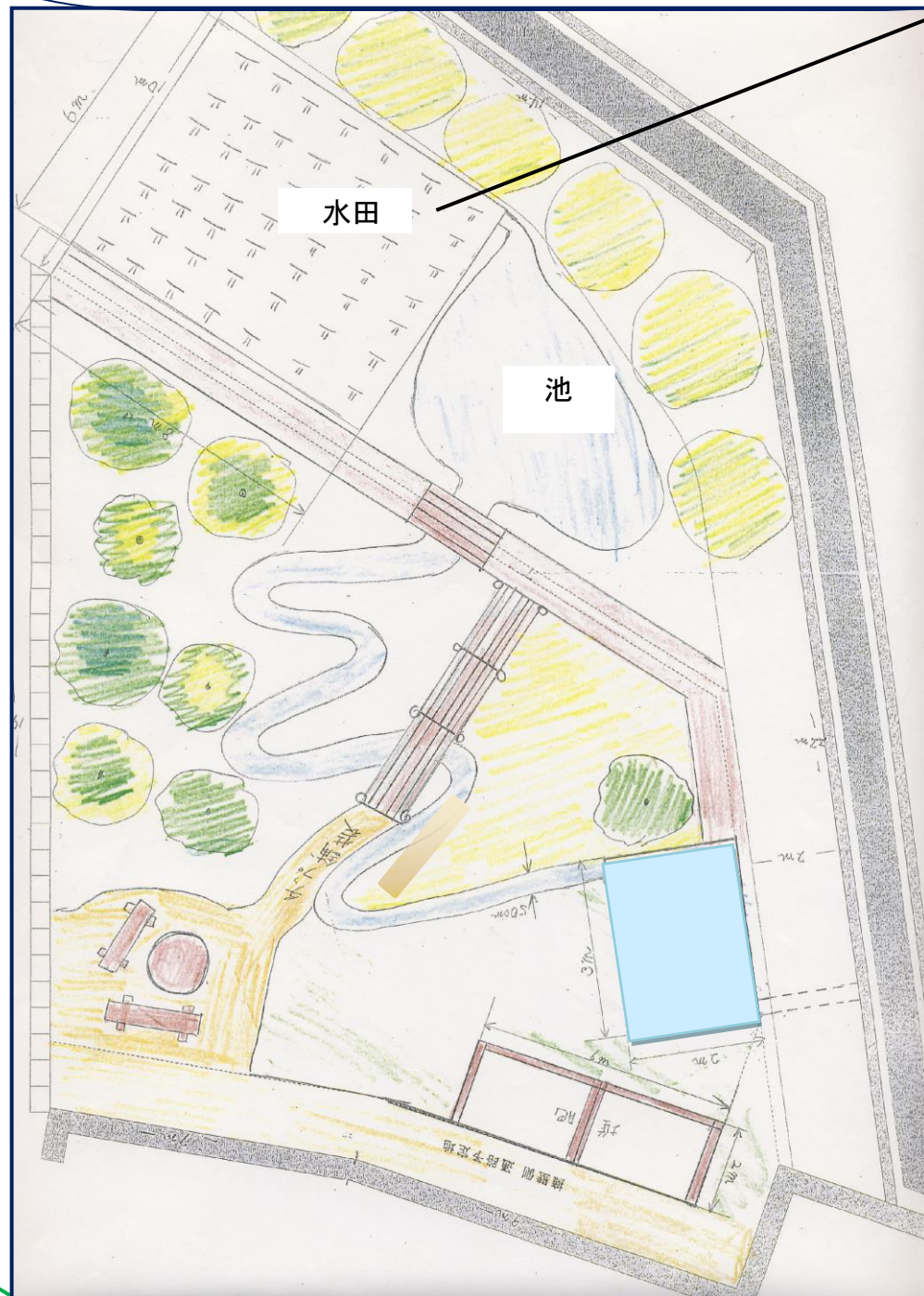
メス 約12mm
オス 約10mm

『生きものいっぱいビオトープ』

安居の里を守る会の事業として、安居の自然を凝縮した「生きものいっぱいビオトープ」造成工事が始まりました。場所は、安居公民館から徒歩3分ほどの休耕田です。今後は、木道を設置し、土盛りして樹木を植えます。一人でも多くの方に参加していただき、ご意見をいただきながら進めていく事が大切だと考えています。

平成24年7月、安居小学校4年生から6年生の全児童を対象に、ビオトープや安居の自然についての学習会を行いました。後日、安居っ子ホタレンジャーの小学生と安居の里を守る会の大人が話し合いながらビオトープの設計をし、福井県自然再生支援隊の方が、下の図面のようにまとめてくれました。

11月に基礎工事をを行い、池や水路を掘りました。右側の写真は平成25年4月に撮ったもので、図面とは少し配置が換わっていますが、子ども達の思いを尊重したビオトープにしたいと思っています。



小さい田んぼですが、
稲を植えます。

安居中学校

安全で快適な観察ができるように、
木道を設置します。安居にある材料を
使うのはもちろんの事ですが、植物な
ども、外来種を持ち込むことは厳禁で
す。どうして？ それは、安居の生物
多様性を保存していかなければならな
いからです。

安居に自生してい
るコナラ、クヌギ、シ
ラカシなどを移植し
ます。

この池は浅くします。

子ども達の
希望で、切り株
テーブルとベ
ンチを置きます。

この池は少し深くします。

ミネラルたっぷりの
山水が流入します。

ミズアオイが開花した場所です。新聞に掲載された後の反響
が大きく、地区外から大勢の人が見に来ました。
今年度は、自然に発芽するのを見守ろうと思います。